

## 水産業

管内は、167kmの海岸線を有し、親潮と黒潮のぶつかり合う好漁場に恵まれ、沿岸漁業を主体に漁業が行われております。

令和4年の管内の生産額109.0億円のうち、コンブが38.5億円(35.3%)、サケが18.8億円(17.2%)と、この2魚種が全体の半分近くを占める主要魚種として位置付けられています。

また、コンブは、全道生産額の21.5%を占め、全道的にも特産魚種として漁獲されてきました。

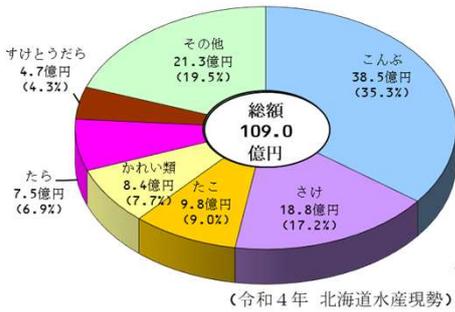
しかし、令和3年9月に道東太平洋地域で発生した赤潮の影響により、ツブなどの漁獲が大きく減少したことから、資源の早期回復に向けた取組が進められています。



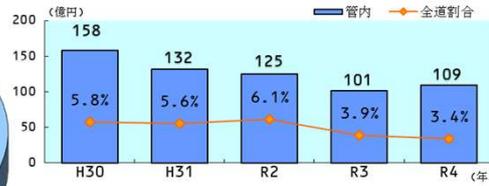
こんぶ干し風景(新ひだか町)

ひだかの産業

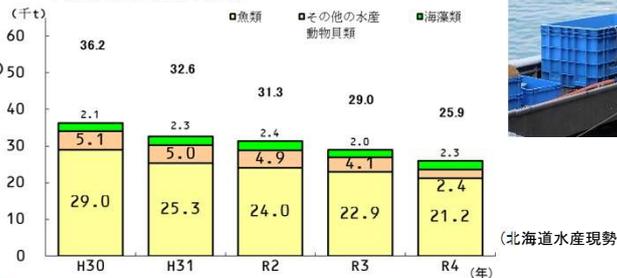
### ■魚種別漁業生産額



### ■漁業生産額の推移



### ■漁業生産量の推移 (北海道水産現勢)



サケ置網漁業 水揚げ風景(浦河町)

### ■全道に占める管内漁業の地位

単位：漁業生産量(t)、漁業生産額(百万円)

区	分	管内	全道	全道比	割合				
					10%	20%	30%	40%	50%
こんぶ	漁業生産量	2,318	11,106	20.9	[Bar chart]				
	漁業生産額	3,850	17,873	21.5	[Bar chart]				
さけ	漁業生産量	2,095	83,731	2.5	[Bar chart]				
	漁業生産額	1,877	64,826	2.9	[Bar chart]				
ぶり	漁業生産量	718	9,590	7.5	[Bar chart]				
	漁業生産額	251	3,183	7.9	[Bar chart]				
またこ	漁業生産量	1,104	13,911	7.9	[Bar chart]				
	漁業生産額	980	12,037	8.1	[Bar chart]				
なかれい類	漁業生産量	4,265	20,684	20.6	[Bar chart]				
	漁業生産額	838	4,053	20.7	[Bar chart]				
すけとうだら	漁業生産量	6,830	139,075	4.9	[Bar chart]				
	漁業生産額	468	9,546	4.9	[Bar chart]				
獲つぶ類	漁業生産量	537	4,782	11.2	[Bar chart]				
	漁業生産額	135	1,913	7.1	[Bar chart]				
さば	漁業生産量	1,314	24,088	5.5	[Bar chart]				
	漁業生産額	86	1,524	5.6	[Bar chart]				
その他	漁業生産量	6,725	843,956	0.8	[Bar chart]				
	漁業生産額	2,410	203,265	1.2	[Bar chart]				
合計	漁業生産量	25,906	1,150,923	2.3	[Bar chart]				
	漁業生産額	10,895	318,220	3.4	[Bar chart]				
動力漁船数(隻)		1,609	22,215	7.2	[Bar chart]				

・漁業生産量はR4年北海道水産現勢  
・船舶数はR4年漁船統計



マツカワの放流(えりも町)

## 育てる漁業

管内では、サケ・マスのふ化放流や、ウニの種苗生産・放流などにより、育てる漁業に取り組んできましたが、近年は、ハタハタや、マツカワ(王鰈(おうちょう))といった高級魚の増殖にも取り組んでいます。

特に、マツカワについては、平成18年から北海道栽培漁業拠点センター(伊達市、えりも町)の供用が開始され、平成20年からは、えりも町から函館市旧南茅部町までのえりも以西太平洋海域で毎年、100万尾の種苗放流を行い、150トンの資源造成を図る計画となっており、このうち日高管内では40万尾を放流する計画となっております。

また、放流後の稚魚の保護・育成を目的とした「全長35センチ未満のマツカワの海中還元」を内容とした海区漁業調整委員会指示も発動され、漁業者、遊漁者等が資源管理に取り組んでいます。